初の県農業農村整備優良工事等表彰

基盤整備部門　最優秀賞に古賀氏

環境整備部門で小薗氏

農業農村整備事業
工事等表彰式及び第1回県内研修

橋口委員長（中央）と記念写真に納まる優良工事受賞者＝鹿児島市のジェイドガーデンパレスで

15年度県農業農村整備事業優良工事等表彰式は18日、鹿児島市のジェイドガーデンパレスで開き、基盤整備部門最優秀賞の古賀雅彦氏（㈱有村建設）、農村環境整備部門最優秀賞の小薗秀作氏（㈱小薗建設）のほか、優秀賞4人の各現場代理人を表彰した。

この表彰制度は、県内農業農村整備の施工技術の向上、請負業者の意欲の高揚を目的に14年度末に創設、今回初めて表彰するもの。県、市町村発注建設工事で前年度に完成した工事を対象に出来栄え、施工管理、現場運営、新施工技術の導入、地域住民への配慮等々の選定基準で各耕地事務所等から優秀工事を推薦、審査委員会で2部門の最優秀賞と優良賞を決めた。

県農政部の有元賢隆総括工事監査監の講評によると、基盤整備部門最優秀賞の「ふるさと農道緊急整備事業　屋村地区14の2」（㈱有村建設施工）は、10年近く地元対応に苦労しながらもきめ細かな施工計画、地元との意見調整、コスト縮減等に積極的に取り組んだことが評価された。また、農村環境整備部門最優秀賞の「農業農村整備事業（集落型）フルーツ東郷地区繰13の4」（㈱小薗建設）は、農村の今日的課題である「ゆとりとくつろぎ空間」を形成する環境整備に努め、現場発生材、間伐材を有効活用すると共に、計画段階から地元の参加によって意見を取り入れた。

基盤整備部門の優秀賞は次の通り（工事名＝①現場代理人②講評）。

▽県営中山間地域総合整備事業　KAM霧島南部地区14の1＝①井上洋一（ヤマグチ㈱）②文化財保護に配慮、盛土等に細心の注意を払い、地域高齢農家との協力体制も良好

▽県営海岸保全施設整備事業　菱田地区14の1＝①河路秀治（㈱岩切組）②積極的地元対策で、トラブルなく工事を細部にわたって施工、防護施設を完成

▽県営畑地帯総合整備事業　目手久地区14の1＝①中島一男（㈱みのる建設）②県道に隣接する場所ながら、安全管理の徹底、土砂流失防止も十分、良好な仕上がりとなった

▽県営畑地帯総合整備事業　田皆地区14の2＝①稲江一彦（㈱元栄建設）②学校に近いなど厳しい環境下、積極的安全対策、適切な土砂流失防止策を施し、出来栄えも良好だった

なお、同日は県農村振興事業連盟（川畑俊彦委員長）、県農村振興技術連盟（橋口和徳委員長）の各15年度通常総会も開催され、各種研修会の実施や農業用施設等に対するボランティア活動を重点とする新年度事業計画を決めた。

鹿屋肝属電気設備協組総会

新理事長に山形氏選出

山形広之進新理事長

鹿屋肝属電気設備協同組合（田平一則理事長・㈲田平電気）は17日、鹿屋市のホテルこばやしで15年度通常総会を開き、分離分割発注並びに地元業者優先育成の推進、IT化の促進、労働災害防止や地域奉仕活動実施などを盛り込んだ新年度事業計画等を執行部原案通り可決承認した。任期満了に伴う役員改選は新理事長に山形広之進氏（㈱坂元電気工事）を選出。総会後に、田中貞雄国土交通省大隅河川国道事務所電気通信課長の講話も行われた。

田平理事長が「組合の脱退者もなくなんとか1年が過ぎた。当市街地再開発の案件についても諸手続きを進めています。受注確保に向けて努力していきたいと思います。これからも一層の組織力を強化し、一致団結で頑張りましょう」と挨拶。

下西龍太郎氏（㈲下西電設工業）を議長に選出、第7号までの議案を審議、特にIT化に伴うパソコン導入やインターネット活用で事務所整備や幅広い陳情活動要請など活発な意見交換が行われ、全ての議案を執行部原案通り承認した。

また、田中課長は、管内の電気通信業務内容から講話に入り、積算基準や資格審査など透明性ある入札・契約等について解説した後、参加者らと意見交換も活発に行った。

新役員は次の通り。

理事長＝山形広之進▽専務理事＝秋永賢一（㈲中央電機工業社）▽会計＝森健一（㈲森電気商会）▽理事＝竹内博行（㈲竹之内電機）道下芳行（㈲道下電気工事）宇都健三郎（㈲宇都電設）▽監事＝田平一則　下西龍太郎（㈲下西電設工業）▽顧問＝梶原正憲（鹿屋市議）

決意新たに写真に納まる新執行部＝鹿屋市のホテルこばやしで

鹿銀の県内景況

公共工事等不振続く

鹿児島銀行はこのほど、最近の県内景況を発表した。総括では「景気は依然低迷が続いている」と報告し、建設関連は「民間工事に大型建築の着工が集中したものの、公共工事・住宅建設は不振が続いている」とまとめた。

詳細報告では、公共工事発注（4月）は、まだこれからという段階で、さらに繰越工事の少なさも加わって、受注状況は厳しさが続いている。民間建築（3月）は、西鹿児島駅ターミナルビルをはじめ、介護関連施設、ビジネスホテルなどの着工が集中し、前年水準を大きく上回った。新設住宅着工戸数（3月）は、前年比37・4%減と大幅に前年を下回った。用途別では、持家が3・4%増と前月に続き前年を上回ったが、貸家は49・8%、分譲も84・9%の各大幅となった。

また、主要建設資材卸売業者の売り上げ（4月）は、依然低調で前年割れが続いている。生コン生産（4月）は、公共・民間工事向けともに低調で、前年比20・7%減となり、販売競争は厳しさが続いている。木材関係も、製材品は住宅建設向けの不振から、生産、出荷とも引き続き低調に推移している。この間、市況は原木、製品ともに弱含みで推移しているとした。

穿ち初めの儀を行う施工業者代表＝名瀬市伊津部町側坑口前で

和光トンネル2工区　安全祈願祭

工事の無事完成祈る

「和光トンネル2工区」安全祈願祭が18日、名瀬市の伊津部町側坑口前で行われ、工事関係者や県、名瀬市、市議会などが出席して、工事の無事故での完成を祈った。

祈願祭では鍬入れの儀に続き、植村久㈱植村組代表取締役、町田實孝㈱町田建設代表取締役、安田泰祐㈱安田組代表取締[illegible]の儀を行い、その後関係者らが次々と玉串を捧げ、工事の安全を祈願した。

市上方地区と中心市街地を結ぶ和光トンネルルートは、全長1820㍍（幅員11・5mのうち車両幅員6・5m）のうち和光町側の1工区1207㍍の掘削を既に終えている。今回掘削工事に本格着手する伊津部町側の2工区[illegible]で、同町新川に架かる橋梁（37m）工事は3月に完成し現在は取り付け道路工事を進めている。トンネル2工区の施工は植村組・町田建設・安田組JVが請け負う。工事請負費は約20億円。概ね15カ月で整備し、和光ルート全体の供用開始は17年度の見通し。

同ルートが完成すると、これまで14分かかった所要時間が9分短縮され5分となり、1日当たりの交通量も現在の約半分に減ることになる。

土砂災害防止絵画の表彰式

内村さんに知事最優秀賞

14年度「土砂災害防止に関する絵画」で、知事表彰最優秀賞に輝いた姶良郡横川町立佐々木小学校6年生（当時5年生）の内村美華さんの表彰式が17日、同校で行われ、前原幸夫栗野土木事務所長が表彰状を授与した。

国土交通省では、6月の土砂災害防止月間行事の一環として、小中学校生を対象に、毎年絵画、ポスター、作文を募集している。小学校絵画の部では、県内20校から79点の応募があった。

栗野土木事務所職員、佐々木小学校職員及び全校生徒[illegible]て開かれた表彰式では、内村さんに表彰状が渡された後、前原所長が「素人目にも生き生きと力強く、また美しく、優れた作品。今回の表彰は内村さんだけですが、皆さんの心の中にも、土砂災害防止の気持ちが芽生えたことでしょう」と挨拶。[illegible]いて、同小学校区内の土砂災害危険個所や、土砂災害が人命や財産に及ぼす影響などを説明した後、土砂災害防止啓発ビデオを放映、児童らは真剣な表情で見入っていた。

内村さんは「絵を描くのが大好き。動いているショベルカーを描くのは難しかったので、表彰されてうれしいです」と笑顔を見せていた。

受賞作の前に立つ前原所長（右）と内村さん＝横川町の佐々木小学校で